









# 地域本部長会議報告(森 本部長)

# 平成 29 年度 第 4 回地域本部長会議

時: 平成30年3月20日(火) Н

13:30~17:20

場 所:機械振興会館2階会議室

出席者:(統括本部)高木会長、中川副会長、岩熊 副会長、伊藤副会長、奈良専務理事、西 村常務理事、宮崎常務理事、(地域本部長) 森(北海道)、吉川(東北)、大谷(北陸)、 渡邉(中部)、杉本(近畿)、大田(中国)、 古野(四国)、佐竹(九州)

長:大田中国本部長 議

記:乗安直人中国本部事務局長 書

### 【議事】

# 1. 統括本部報告(主要議題)

- (1) 平成 29 年度技術士第二次試験結果について
  - ・二次試験結果と平成31年度技術士試験の改正 について説明があった。特に技術士試験の改正 については時間をかけ分かりやすくホームペー ジで説明していくことが報告された。
- (2)科学技術・学術審議会技術士分科会及び制度検 討特別委員会報告について
  - ・国際的通用性に向け、第一次試験の適正化、更 新制度の導入・CPD の充実を検討する一方で、 内外での活用・普及拡大を確実に行うことが検 討されている。
- (3)技術士制度検討委員会検討状況報告
  - ・高木会長から更新制度導入の必要性について説 明があり、中川副会長から技術士資格は資質向 上の責務の確認、登録状況の把握が現状不十分 であり、早期に取り組む必要性があると報告さ れた。
- (4) 現役若手世代会員の CPD 活動の活性化につい

- ・部会、地域組織における現役若手世代会員の CPD 行事企画に対し、1 行事 5 万円、1 組織当 たり 10 万円までの経費支援を行うことが説明 された。
- (5) インターネットによる立候補制度の導入につい
  - ・前回選挙時の立候補届出において事前確認が必 要となった正会員数は 1.570 名であり、次回 は部会長選挙も加わることから、事務量の軽減 と効率化を図るためインターネットを利用した 立候補届出システムを導入する。
- (6) 講演会のインターネット配信システムの検証状 況について
  - ・Skype for Business による WEB 講習会をこ れまで試行したが、特に問題ない状況である。 実績を積んで運用ルールを整理したい。
- (7) 平成 30 年度地域本部での地域本部長会議開催 について
  - ・平成30年度の地域本部での開催は、9月に九 州で開催することとなった。

#### 2. 地域本部関係[審議事項]

# (1) 近畿本部

・日韓技術士国際会議(兵庫・神戸)への広告協賛 について各本部協力することとされた。

### 3. 地域本部関係[報告]

各地域本部長から資料に基づき説明があった。

## 4. 地域本部関係[意見・要望等]

- (1) 北海道本部・北陸本部・中国本部
  - ・Skype for Business による WEB 講習会につ いて、地域本部傘下の地域ブロックへの配信、 県支部等への連絡ルール等ガイドラインの策定 依頼があった。
  - ・統括本部 HP 上に WEB 配信可能な研修会・講 演会の明示要望があった。
  - →検討課題とされた。(事務局)
  - ・WEB 講習会発信元の会場は有線での配信依頼

があった。

→機械振興会館の幾つかの会議室に有線の LAN を敷設していただいた。WEB 講習会は有線 LAN 使用可能な会議室を優先的に使用する旨、 指導する。(事務局)

#### (2) 北陸本部

- ・CPD 行事参加費について、無料も含め地域本 部で柔軟に対応できるよう要望があった。
- →会費を支払っている会員への配慮から参加費に 差を設けることが必要と考えている。各地域の 実情を参考に検討いただきたい。(事務局)

#### (3) 近畿本部

- ・各地域本部の紹介パンフレットがあれば提供し て欲しい。
- →北海道本部のパンフレットを提供した。

# 理事会報告(大熊理事)

### 平成 29 年度 第 6 回理事会

日 時:平成30年3月14日(水)

13:00~17:00

場 所:機械振興会館 6 階会議室

### 議題(主なもの)

#### 【高木会長より】

年頭に挙げた4つの重点項目について、特に以下の点について統括本部、部会、地域本部が一体となって進めていきたい。

- 1) 産業界での技術士の活用の実態を知った上での活動
- 2) 技術士資格の社会での活用拡大に向けて

#### 【審議事項】

 現役若手世代の CPD 活動の活性化について (H30.4.1~)

目的は、現役若手世代の CPD 行事の企画実施 を活性化し、参加を促進し、退会の抑制を図るこ ととする。

当面の運用条件は、① CPD 行事企画を担当するチーム又はグループを設け、企画検討を行うと共に、講師の了解を得て HP 掲載等、当日参加で

きない会員にも配慮すること。② H30 年度は 1 行事 5 万円以内、1 活動組織 10 万円まで。③企 画は平日の夕刻又は休日であること、現役世代の 関心を集める内容であること、などとする。

申請は組織の代表者が所定の様式により企画委員会へ行い、趣旨を確認して申請もとへ通知する。 なお、上がった申請は随時企画委員会を開催して、 時間的なロスを少なくする。

また、チーム等は数名でよい。(既存の研究委員会等に縛られない)

### 2. 平成30年度事業計画について

一般事業(各委員会所掌)と指定事業(試験)について事業計画があり、承認された。

3. 平成30年度収支予算について

事業計画に伴う予算計画案が示され、会長所信にもあった事業計画の重点事項について予算配分も重点化してはどうかとの意見があり、雑費・予備費・積立金取り崩しなどの費目からの移動を含めて対応することで承認された。

#### 4. 部会に関する規則の変更について

部会長選挙の導入に伴い、部会長は任期満了後 も新任者が就任するまで継続することが追記さ れ、承認された。

5. インターネットによる立候補制度の導入に伴う 関係規定の制度及び変更について

次期選挙からの運用を予定している役員候補者 及び部会長候補者選出選挙等について、新規規程 の制定、既存規程の変更が審議され、承認された。

6. 常勤理事の報酬の変更について

人事院勧告に基づく常勤理事の報酬の変更(賞 与 0.1 か月分上乗せ)が審議され、承認された。

7. 委員会委員の異動について

CPD 支援委員の変更が審議され、承認された。

8. 会員の入会等について

12・1月の入退会は正会員入会 45 名、同退会 等 30 名であった。北海道本部関係では、入会 3 名、退会 0 名であった。

#### 【報告事項】

## 1. 平成 29 年度技術士第二次試験結果

平成29年度技術士第二次試験について報告があった。

受験申込者数32,947名(前年比4.1%増)北海道1,942名(前年比0.9%減)受験者数26,253名(前年比4.9%増)北海道1,516名(前年比0.5%増)合格者数3,501名(前年比4.0%減)北海道195名(前年比1.6%増)対受験者合格率13.3%(前年比1.3%減)北海道12.9%(前年比0.2%増)

2. 科学技術・学術審議会技術士分科会及び制度検討特別委員会報告について

以下の会議報告があり、それぞれ新年度も継続 して審議していく旨の報告があった。

- ・科学技術・学術審議会第 38 回技術士分科会 (H30.2.21)~高木会長、岩熊副会長
- ·同 技術士分科会第 4 回制度検討特別委員会 (H30.1.24) ~高木会長、岩熊副会長
- ·同 技術士分科会第 1 回国際的通用性検討作業部会(H30.1.12)~中川副会長、鮫島委員
- 3. 技術士制度検討委員会検討状況報告について (H31 以降に運用開始予定)

制度検討の方向性を検討中。(未決事項)

- ・更新:技術士登録者全員(CPD は事前確認)
- ・更新期間:5年(87,000人÷5≒20,000人 (新規想定)
- ・登録費用:5,000円
- ・更新講習:1日(実質5時間)、受講費用 10,000円、各地域本部にて開催(CPD認定会 員は講習免除)
- ・未受講者は技術士の名称使用不可
- ・CPD: 年20時間(現行50時間)うち倫理2時間+最新技術動向3時間を義務付け
- 4. 外部委員会委員等の推薦について

安全工学シンポジウム実行委員会委員の異動報 告があった。

# 5. 内閣府大臣官房公益法人行政担当室による立入 検査結果について

3年に1度の立ち入り検査(H30.1.29)があり、改善すべき事項の指摘があったが、滞りなく終了した旨の報告があった。

### 6. 常設委員会等報告について

各常設委員会等から報告があった。

7. 講演会のウェブ配信システムの確認状況について

新規導入した講演会配信システムについて、1 月より 10 回の検証試験を行っており、問題点を 整理して本運用を予定している。北海道本部では 検証済。

## 8. 平成 29 年度業務状況報告について

H30.1 末時点での予算執行状況報告があり、一般会計では入会金増などにより黒字見込み。特別会計も受験者数増により順調に推移している旨の報告があった。

[以上]